（計画様式２－１）

◆【計画様式2-1　実施計画書】は、基本的に【計画様式１，2-2】の重要要素を抜粋して作成されるものです。【計画様式2-1　実施計画書】、3.「研究開発目標」はＪＳＴとの[委託研究契約書]、別記1-3「当事業年度における研究目的及び内容」の部分に記載されます。

【計画様式１】を先に作成してから本紙を作成し、誤字脱字、研究費の転記間違いが無いようご注意ください。黒字は書式および新たに記載すべき箇所を、青字・赤字（枠囲みや吹出し）は注釈や凡例を示しています。

提出の際には、注釈・凡例は削除して下さい。（計画様式1，2-2も同様です。）

実施計画書

プロジェクト名を記載してください。

研究担当者：

委託研究開発を中心的に行う者として委託研究契約書に記載される者。（研究代表者または主たる共同研究開発者）

◆組織名は、法人格を含め正式名称を記載して下さい。

**ＪＳＴとの委託研究開発契約書にそのまま転記されます。記載間違いが無いようご注意ください。**

１．課題番号・研究開発課題名

　　SＴ0000000X　「○○○○○○○○」

２．研究担当者

　　国立大学法人△●大学　○○学部　　教授　　○○ ○○

【計画様式1-1　Ⅲ．３．（１）本研究開発の到達点】を踏まえて、主に本年度の研究開発目標を３行程度で記載して下さい。

**ＪＳＴとの委託研究開発契約書にそのまま転記されます。記載間違いが無いようご注意ください。**

３．研究開発目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【計画様式1　Ⅳ．委託研究開発内容】から、各機関が当該年度に実施する【研究開発項目】および【支援項目】を転記して下さい。

４．事業年度毎の実施項目

|  |
| --- |
| ２０〇●年度 |
| 1. ○○○○○○○○○のメカニズムの解明

○○○○○○○○○○○○○○○○○○上から順に丸付き番号の連番をふって下さい。1. ○○○○○○○○○の評価手法の確立

○○○○○○○○○○○○○○○○○○1. ○○○○○○○○○の生産法の確立

○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

研究開発終了日が翌年度以降となる場合であっても、本項記載の終了日は本年度末日です。

５．研究開発実施期間

　　２０〇●年〇●月〇日から２０〇●年〇●月〇日まで

６．参画機関

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名称 | 種別 |
| 国立大学法人△●大学●●□株式会社国立大学法人△△大学 | 研究代表者所属機関事業プロモーターユニット主たる共同研究開発者所属機関 |

自身の所属する機関を含めて、参画する研究開発機関を全て記載して下さい。その他、外注先の記載は不要です。

７．委託研究開発費 （内訳）

研究開発課題の代表者の所属する機関を「研究代表者所属機関」とします。

また、共同研究開発に参画する機関を｢主たる共同研究開発者所属機関｣とします。

計画様式3事業費支出・執行計画書（プロジェクト支援型）参照。